



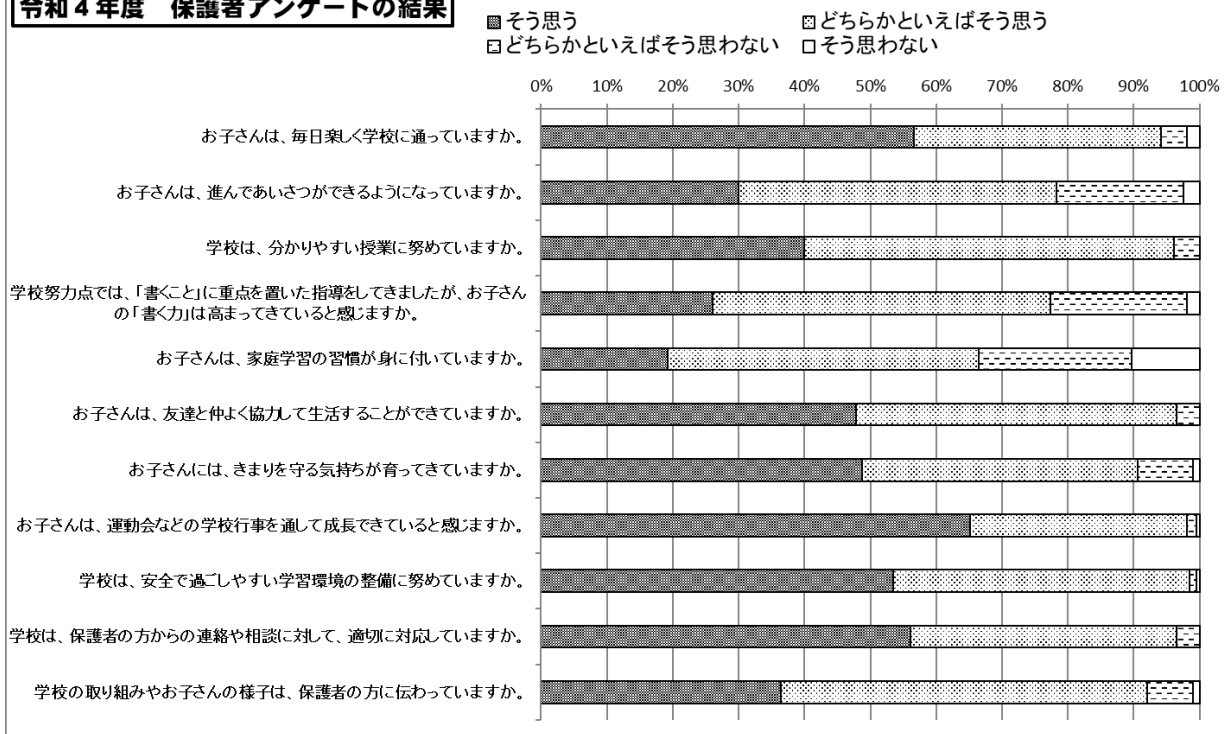
令和4年度

福春小学校の教育活動の評価と振り返り

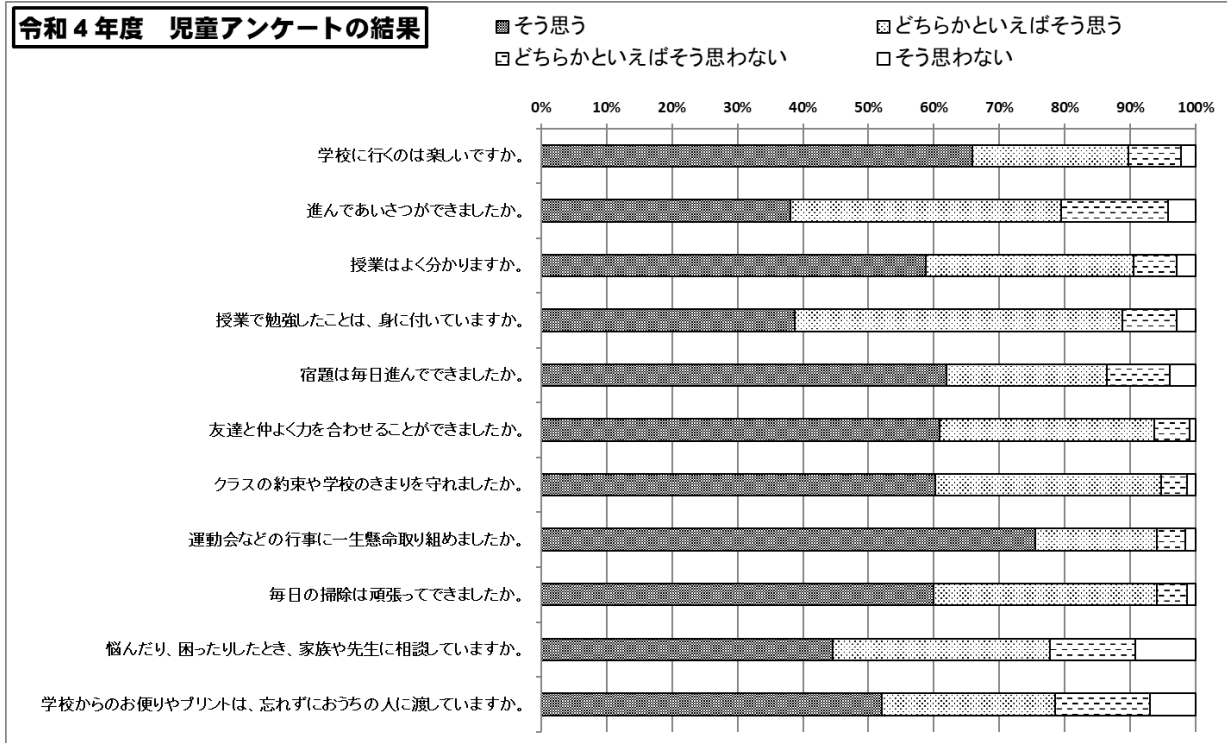


令和4年度も締めくくりの時期を迎えました。今年度も校訓の「ねばりづよく・なかよく・たくましく」を目指して、学校全体で一つ一つの課題に向き合い、多くの成果を得ることができた一年でした。来年度、さらなる向上を目指して、また新たな目標をもって取り組みを継続していきたいと考えています。そこで、12月に実施した保護者へのアンケート、子どもへのアンケートの結果をもとに、今年度の取り組みを振り返りました。

令和4年度 保護者アンケートの結果



令和4年度 児童アンケートの結果



今年度の取り組みを振り返って ～ 保護者へのアンケート、子どもへのアンケートより ～

学校生活全般および学校行事について

子どもへのアンケートでは、90%近くの子どもが、「学校は楽しい」と答えており、昨年度とほぼ同程度の結果でした。今後も、子どもたちみんなが、笑顔で登校し、笑顔で下校できるよう、教職員が丸となってさらなる努力を重ねていきます。

学校行事についても、94%の児童が「一生懸命取り組めた」と答えており、運動会や作品展などを通して、「友達と力を合わせて最後まで頑張った」という達成感を味わわせることができた成果だと考えます。

学習面について

86%の子どもが「宿題を毎日進んでできた」と答えた一方、「家庭学習の習慣が身に付いている」と答えた保護者の方は67%にとどまり、昨年度同様、大きな開きがありました。今年度も、家庭学習の定着を目指し、毎月の「家庭学習週間」を位置付け、記録カードを活用して継続的に取り組んできました。ご家庭でもご協力いただき、ありがとうございました。今後も、進んで家庭学習に取り組む子どもが増えるよう、取り組み内容を改善してまいります。

また、90%近くの子どもたちが、「授業はよく分かる」、「勉強したことが身に付いている」と答えていますが、どちらの項目も昨年度より割合が微減しました。一方、「勉強したことが身に付いていない」と答えた子どもが10%程度いました。今後、子どもたち一人一人に合った学びの方法や過程を大切にする『個別最適な学び』を重視しながら、授業改善に努めていきます。

生活面について

93%の子どもが「毎日の掃除は頑張ってきた」と答えており、「みんなが毎日使う場所を、みんなできれいにする」という意識や習慣が身に付いていることの表れだと感じます。また、きまりについての項目では、保護者へのアンケート、子どもへのアンケートのいずれも高い評価が得られました。これは、保護者の方にも、学校の指導についてご理解いただき、学校と家庭が協力して指導に取り組んできた成果だと考えています。

一方で、「進んであいさつができた」と答えた子どもが79%であるのに対し、「進んであいさつができなかった」と答えた子ども・保護者の割合は、他の項目と比較しても多かったです。同様に、「悩みや困りごとを大人に相談していない」や「お便りやプリントを忘れずに渡していない」と答えた子どもの割合も比較的多く、日頃のコミュニケーションをさらに心掛けていく必要性を感じました。ご家庭でも、日々の何気ない会話を大切にしていだけますよう、ご協力をお願いします。

今年度の取り組みを振り返って ～ 教職員へのアンケートより ～

学校生活全般および学校行事について

今年度の運動会も2学期に実施し、文化的行事（作品展）を3学期に実施しました。実施時期については、教職員からも「概ねよいのではないかと」の回答を得ていますが、来年度は、7月から年度末にかけて「埋設給排水管改修工事」が行われる予定です。期間中は、運動場のおよそ3分の2が使用できなくなるため、運動会につきましては、来年度に限り5月に実施する予定です。

授業参観については、方面別に分け、4月、9月、2月と3回実施しましたが、毎回多くの保護者の方にご参観いただきありがとうございます。来年度は、授業参観と同日に、コロナ禍で行っていなかった学年・学級懇談会を計画しております。多くの方にご参加いただければと思います。

学習面について

昨年度から配置された学習者用タブレットについては、教員も研修を積みつつ、学年の実態に応じて、授業の中だけでなく家庭に持ち帰っての活用場を増やしてきました。これにより、ICTの有効活用についても評価が上がりました。

一方、家庭学習の定着を図るための指導について課題を感じている教職員が多く、これまでの「家庭学習週間」の取り組みを見直したり、新たな方策を探ったりしていく必要性を感じています。

生活面について

生活指導面での教職員の共通理解や家庭との連携といった項目の評価が上がりました。学校では、全教職員で子どもたちについて情報交換する場を毎月設けています。その中で、一人一人の子どもがどのような状態にあり、どのような支援が必要なのか共通理解を図っています。こうした取り組みが、少しずつ成果につながりつつある表れであると捉えています。

また、きまりを守ることについての評価は、昨年度よりもやや低く、課題として残りました。廊下や階段を走っていたことによるけがなど、きまりを守らないことによるけが・トラブルも目立ちます。きまりを守ることの必要性について、子どもたち自身に考えさせる指導を行っていく必要があると考えます。

その他

「働き方改革」が話題になって久しいですが、本校でも、既に留守番電話対応を取り入れさせていただいております。名古屋市では、毎月1回「定時退校日」を設けることで在校時間縮減を促すこととしていますが、下校後の業務も多いため、実現が難しい状況です。来年度は、この「定時退校日」を保護者の方にもお知らせし、当該日の電話対応等の時間も短縮させていただく予定です。